

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻中心の平地農業地域
- 米を主体に畑作では大豆・麦類のほか、高収益作物(南瓜・ニンニク・タマネギ等)を推進し、畑作に不向きな干拓土壌特有の重粘質土壌の改良と更なる作業効率化を目指す地区

【支援内容・背景】

- 米価の下落や資材高騰など農業経営を取り巻く環境変化に対応するため、作業の省力化による土地利用型作物や高収益作物の作付面積拡大の支援が必要。
- 助成対象者は、水稻を主体とする経営体であり経営面積拡大による作業の効率化とコストの削減による売上高の拡大を計画。



助成対象者の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成24年 就農
- 令和2年 経営移譲
- 令和3年 経営改善計画の認定
- 令和6年 水稻に加え、麦・大豆との2年3作体系を導入

《事業活用の背景》

- 経営規模拡大による効率化とコスト削減を図るため高性能機械の導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 収入総額 28.5百万円
- 付加価値額 20.0百万円
- 経営面積 25.16ha
(水稻 25.16ha)

《事業による整備内容》

- フルクローラートラクター 1台
- 事業費 13,800千円
(国費 3,000千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 収入総額 39.9百万円 (140%)
- 付加価値額 23.3百万円 (117%)
- 経営面積 25.16ha
(水稻 22.53ha)
(麦、大豆 2.63ha)

事業の
効果

《対象者》 高性能機械導入により作業効率が向上し、新たに麦・大豆の複合経営を実施、経営リスクの分散が図られた。高齢化により近隣市町でも離農が進んでいるため地域の担い手として今後もさらに期待される。

《地区》 助成対象者の生産体制強化により、地域農業の活性化が図られた。